

空手で 全国大会へ



下関市空手道連盟に、現在活躍している中学生2人を紹介していただきました！



矢野 大喜 さん

第29回全国中学生空手道
選手権大会(山口県予選)
中学2年生男子形の部 第4位

山の田中学校2年生
下関市空手道連盟／川中道場所属



各種大会で好成績を残し続け、ついに全国大会への出場を果たした矢野さん。

矢野さんは、空手の基本動作を大切にします。日々、鏡と向き合い、入念に形を確認。緩急のあるニーパイポという技を得意としています。形の最初に、大きな声を出して自分の世界に入り込みます。

小学4年生の頃に、4歳年下の弟に付き添って訪れた道場で、偶然に空手と出会い、次第に熱を帯びていきました。礼儀と物おじしなない精神力(勇氣)を鍛えることができた振り返る矢野さん。

「目標は全国大会にもう一度出場し、ベスト8に入ることです。弱点を克服するため、体幹を鍛えています」と力強いまなざしで話してくれました。

大河内 陽愛 さん

第16回全国中学生空手道
選抜大会(山口県予選)
中学1年生女子形の部 準優勝

長府中学校1年生
下関市空手道連盟／乃木道場所属



「心の強い子に育ってほしい」という両親の思いがきっかけで、3歳の頃から始めた空手。学校生活と両立をしながら、道場での練習は週2回。自宅の練習は毎日しています。自宅では大きな動きはできないため、突きや蹴りなどを部分的に練習しています。3歳の弟に、自宅で空手を教えることもあるそうです。

大河内さんは、幼少期からライバルたちと競い合い、持ち味のスピードと正確さを武器とした空手の形で、今年も全国大会への出場を決めました。

「先輩方から教えていただいたことを、小さい子たちに教えて恩返ししたいと思います。これからも空手を続けていきます」と素直な気持ちで話してくれました。

